

吉野秀雄全集

第四卷、

筑摩書房

吉野秀雄全集第四卷

昭和四十四年九月五日第一刷発行
昭和五十二年五月二十日第二刷発行

著 者 吉 野 秀 雄

発行者 井 上 達 三

発行所 筑 摩 書 房

東京都千代田区神田小川町二ノ八

郵便番号 一〇一―一九一

電話 東京(三六二)七六五二(代表)

振替 東京 六一四―一二三

印刷 多田印刷株式会社

製本 株式会社鈴木製本所

落丁・乱丁本はお取替いたします

吉野秀雄全集第四卷

目次

心のふるさと

唐招提寺の鑑真和上像	七
清拙正澄遺偈	六
鎌倉大仏	元
大愚良寛書「愛語」	三
高山寺の明恵上人坐禅図	三
鶴岡八幡宮の辨才天坐像	三
足利尊氏清水寺願文	三
親鸞上人画像	二
金戒光明寺の山越阿弥陀図	七
道元の普勸坐禅儀	元
興福寺の阿修羅像	三
薬師寺の聖観音立像	三
杉本寺の十一面観音立像	三
正倉院の麻布墨絵仏像	三
瑞泉寺の夢窓国師像	二

秋篠寺の伎芸天像		天
覺園寺の大宝篋印塔		天
一休和尚墨蹟		天
東大寺の金銅大燈籠		器
大燈国師墨蹟		器
藥師寺の東塔		器
法隆寺の夢違觀音像		器
隅寺心經		器
孝謙天皇の百万塔		器
覺園寺の黒地藏		器
淨瑠璃寺の吉祥天立像		器
寿福寺の榮西禪師像		器
元興寺の藥師如來立像		器
唐招提寺の如來形立像		器
道鏡自筆の牒		器
病草紙		器
信海の不動明王像		器
一休和尚画像		天

慈雲尊者墨蹟……………	五
白隠の彌猴図……………	六
興福寺の龍燈鬼……………	三
東大寺の誕生釈迦仏……………	三
東大寺の不空羂索觀音立像……………	四
固山一鞏墨蹟……………	六
淨瑠璃寺の九体阿弥陀……………	七
覺園寺の薬師三尊坐像……………	九
無学祖元の墓塔……………	七
常盤山文庫の聖觀音立像……………	七
玉虫厨子の捨身飼虎図……………	三
法華寺の十一面觀音立像……………	四
弘法大師の灌頂記……………	五
中尊寺の一字金輪坐像……………	七
伝橘逸勢の伊都内親王願文……………	六
興福寺の乾闥婆像……………	九
旧山田寺の仏頭……………	八
盤珪和尚墨蹟……………	三

那智滝図……………	三
土佐の柴折薬師……………	六
法隆寺五重塔落書……………	六
一山一寧墨蹟……………	七
法隆寺天蓋付属の天人……………	九
光明寺の当麻曼荼羅縁起……………	九
弘明寺の十一面観音立像……………	一〇
光触寺の阿弥陀三尊像……………	一〇
浄妙寺の退耕行勇坐像……………	一〇
可翁の寒山図……………	一〇
如拙の瓢鮎図……………	一〇
雪舟の慧可断臂図……………	一〇
子元祖元墨蹟……………	九
聖一国師遺偈……………	一〇
六波羅蜜寺の空也上人像……………	一〇
牧谿の鶴図……………	一〇
元庵普寧墨蹟……………	一〇
江ノ島の辨才天坐像……………	一〇

円応寺の初江王坐像	二七
東大寺の重源上人像	二八
東慶寺の水月観音像	二九
虚堂智愚墨蹟	三〇
忍性律師五輪塔	三三
円応寺の鬼卒像	三三
証菩提寺の阿弥陀三尊像	三四
過去現在因果經	三五
東大寺門額	二七
仙厓の豊干図屏風	二八
妙法院の風神雷神像	二九
宇治橋断碑	三〇
法華寺の維摩居士坐像	三三
拙庵徳光墨蹟	三三
夢窓国師墨蹟	三四
因陀羅の布袋図	三六
平家納経	三七
伝曾我蛇足の臨済図	三六

送海東上人帰国図	一〇
絶海中津書唐詩	一一
清凉寺の釈迦如来立像	一二
西行の一品経和歌懷紙	一三
清滝権現画像	一四
法界寺の壁画飛天	一五
信貴山縁起絵巻	一六
花園天皇画像	一七
普賢菩薩像	一八
仏鑑禪師墨蹟	一九
慈恩大師像	二〇
釈迦金棺出現図	二一
後白河法皇奥書	二二
阿弥陀聖衆来迎図	二三
深大寺の釈迦倚像	二四
薬師寺の仏足石歌碑	二五
あとがき	二六

通りすがりの大和

宗達光琳展とマチス展	一五
寒食詩巻——私の美術鑑賞——	一六
通りすがりの大和	一七
日本美を開眼させる三章	一八
金沢文庫の兼好展	一九
モダンな古仏たち——日本彫刻名宝展を見て——	二〇
一条恵観公山莊拝見の記——私の好きな茶室——	二一
鎌倉の大仏	二二
国宝二点	二三
久方の光のどけき——宗達「西行物語絵巻」——	二四
高村光太郎の書	二五
勝田忘庵翁を憶ふ	二六

「ふるさと」 釈文

解説	三三
----	----

凡例	三六
----	----

釈文	三七
----	----

良寛和尚の人と歌

はしがき	二四七
------	-----

良寛の生涯

良寛の少年時代	二五三
---------	-----

良寛の青年時代と出家の原因	二五八
---------------	-----

良寛の五合庵時代	二六〇
----------	-----

良寛の晩年	二七五
-------	-----

良寛の芸術について	二八三
-----------	-----

良寛の愛について	二九三
----------	-----

良寛歌私解

春の歌	三〇三
-----	-----

夏の歌	三五四
秋の歌	三五六
冬の歌	三六七
雑の歌	四〇四

良寛のこと

良寛の輪郭	四九六
玉島の円通寺	四九八
貞心尼のこと	四〇六
良寛と以南の書	四〇四
良寛の書簡について	四〇六

万葉集の話

万葉集のはなし	五五五
万葉集への親しみ	五五五
万葉集の魅力	五七七

古俳句について

出雲崎の芭蕉碑	五三
「風雅の誠」について	五一
凡兆の俳句	五〇
「春風馬堤曲」贅註	五九
与謝蕪村の涼味	五九
蕪村夏季句抄	五九
古俳句漫註 — 凡菫句集『井華集』抄 —	六二
一茶とその生涯 — 現代に生きる経典 —	六九
解題	六三
心のふるさと・図版	六五

吉野秀雄全集第四卷

芸術論・古典研究

